

認知症の人の能力の体系化と適切な自我を支える対応法

		項目	能力	自我を支える対処法
思考過程	記憶・記 銘力	新しく起こったことを思い出す		
		これから何をするか思い起こす		
		記憶や経験を取り出す		
		新しいことを学ぶ		
	言葉	適切な言葉を探することができる		
		言いたいことが表現できる		
		あなたが言っていることを理解できる		
		読み、書き、数えることができる		
	集中力	短い瞬間しか集中することが出来ない		
		同時にいくつものことを行うことが難しい		
		与えられた課題をやり遂げることが難しい		
		会話の筋を保つことが難しい		
	抽象力	抽象的な言葉を理解することが難しい		
		具体的な状況を示さないと理解できない		
		おもしろい話(落語など)のオチを理解することが難しい		
			今が何年で、どの季節であるかがわかる	
		時計の針を読むことができる		

外界と自己に関する 現実感	自分が何歳であるかがわかる		
	人物や物を判別することができる		
感情のコントロール	怒り、悲しみ、性的な衝動などの感情をコントロールする		
	不安や失望を処理できる		
	欲求を満たすことを待てる		
	衝動的になることを避けることができる		
判断・予断力	自分の行動の結果が理解できる		
	自分の経験から学ぶことができる		
	どのような状況が危険なのかが判断できる		
	多様な状況に「適切」に対応できる		
他の人との人間関係	1人であることが難しく、他人に依存する		
	「べったり」あるいは必要以上に「要求」する態度が見られる		
	他人の立場に立って理解することが難しい		
	他人との交流に神経過敏である		
現実検討	何かの活動をリードできる		
	道具や対象物を使うことができる		
	筋道の通った活動を遂行することができる		
	衣類、対象物、道具、必要な中身を選ぶことができる		
	予定を立てることが出来る		

五感から受ける印象への過敏さ	音や光に過敏である		
	多様な印象を受けとめ、整理することができない		
	痛みに対する反応が過敏、あるいは鈍感である		
	嗅覚と味覚が鈍くなっている		
防衛機制	不安になりやすく、葛藤を抱きやすい		
	自分の記憶障害などの困難・問題を否認する		
	自分の困難を「他の理由」にする		
	自分のもの忘れやその他の問題を思い起こさせる状況を避ける		
	自分の困難を他の人の責任にする		
自尊心	他の人のために貢献ができ、役に立つ		
	可能なことは自分で決める		
	周りから尊敬をもって対応される		
	日常生活において安心感がもてる		
	できるかぎり自立した生活を送ることができる		
	与えられた課題や要求をこなすことができる		